

【報告】名古屋第二雪氷基地 電源供給ケーブル損傷事案

- 確認日時 平成28年1月23日(土) 14:00頃
- 発生場所 東名高速道路 B1-300mp付近(左路肩)
- 概要 名古屋第二雪氷基地への電源供給ケーブルにマルチングシートの固定用ピンが刺さり漏電したことにより停電となった。
- 状況 名古屋第二雪氷基地の停電復旧作業において電源供給ケーブルの損傷箇所を確認したところB1-300mp付近に設置されているマルチングシートの固定ピン(長さ250mm)が地表より100mmの深さに埋設されていたケーブルに刺さっている事による漏電が原因と確認された。
この原因となった作業として平成27年6月24,25日に施工したマルチングシート補修と考えられる。
- 原因 今回の施工箇所は新設箇所ではなく、劣化した箇所の補修ということで固定ピンを同じ箇所に設置すれば特に問題無いと安易に考え、試掘せずに施工した事が原因である。
- 対策 今後は補修箇所であっても施工箇所付近の埋設ケーブル図を手配し、確認してから施工する。
また近接作業となる場合は、近接協議をしてから作業する。

